

特定非営利活動法人日本歯科放射線学会
令和4年度第1回(通算第42回)理事会議事録案

1. 開催日時 令和4年6月4日(土) 10:00~12:00
2. 開催場所 岐阜市 じゅうろくプラザ 5F 大会議室および Web (ハイブリッド開催)
3. 理事の数 36名
4. 出席した理事の数 31名(委任状5通)
理 事 長 浅海淳一
副理事長 勝又明敏
理 事 新井嘉則, 金田 隆, 倉林 亨, 田口 明, 林 孝文, 荒木和之, 有地榮一郎, 飯久保正弘,
泉 雅浩, 小椋一朗, 柿本直也, 香川豊宏, 河合泰輔, 北森秀希, 鬼頭慎司, 小林 馨,
後藤多津子, 櫻井 孝, 角 忠輝, 角 美佐, 田中良一, 中山英二, 三浦雅彦, 村上秀明,
森本泰宏, 柳 文修, 吉浦一紀, 有地淑子, 田中達朗
5. 浅海理事長より、挨拶があった。
6. 議長の選任
定足数に足る出席があったので浅海理事長は開会を宣言し、定款の規定により理事長が議長になり議案の審議に入った。
7. 議事録署名人の選任
議長より、議事録署名人を定款により議長の浅海淳一理事長、荒木和之理事と有地榮一郎理事を選任したい旨の提案があり承認された。
8. 会議の目的及び審議事項
 - 1) 報告・通知事項
 - ①会務報告
 - ②第62回学術大会・第18回定例総会(2022年)・第13回アジア口腔顎顔面放射線学会準備状況について
 - ③第63回学術大会・第19回定例総会(2023年)準備状況について
 - ④第3回秋季学術大会(2022年)の準備状況について
 - ⑤各種委員会報告
 - 2) 審議事項
 - 第1号議案 令和3年度事業報告、財務目録、貸借対照表及び収支計算書の件
 - 第2号議案 令和4年度収支予算修正承認の件
 - 第3号議案 令和5年度収支予算承認の件
 - 第4号議案 令和5年度事業計画承認の件
 - 第5号議案 学術委員会 各種会員賞授与について
 - 第6号議案 規約検討委員会 専門医制度施行細則の改訂の件
9. 審議の経過の概要及び議決の結果
 - 1) 浅海理事長より、次のとおり令和4年5月6日現在の会務報告があった。
 - ①会員数 1522名(正会員 1448名、名誉会員 27名、終身会員 19名、図書館会員 16名、賛助会員 12名)
 - ②浅海理事長より、慶弔報告として山田直之の訃報の報告があった。黙とうをささげた。
また、名誉会員 神田重信先生が瑞宝中綬章(教育研究功労)を受賞されたと報告があった。
 - ③専門医 251名、指導医 101名、認定医 470名、准認定医 565名、PET 核医学歯科認定医 27名、口腔放射線腫瘍認定医 24名、研修機関 34機関
 - 2) 第62回学術大会・第18回定例総会(2022年)・第13回アジア口腔顎顔面放射線学会準備状況について
勝又副理事長と新井理事より、ご挨拶と準備状況の報告があった。アジア口腔顎顔面放射線学会との併催であり、オンラインとのハイブリッドにて開催となる。
 - 3) 第63回学術大会・第19回定例総会(2023年)準備状況について
吉浦理事より、資料の通り九州大学医学部百年講堂での開催に向け準備中との報告があった。

4) 第3回秋季学術大会(2022年)の準備状況について

中山理事より、第63回大会について、北海道での開催に向けて準備中である旨の報告があった。

5) 各種委員会報告

①学術集会委員会

田口理事より、2024年までの学術大会会長、秋季学術大会会長、花村信之メモリアルレクチャー講演者の報告があった。2025年度以降は今後の検討課題とした。

②規約検討委員会

田口理事より、専門医制度施行細則の改訂、必要症例数について審議すべきと提言があった。後ほど「審議事項」にて議論に挙げることにした。

③編集委員会

・英文誌編集委員会

浅海理事長より、資料の通り発行状況について報告があった。

・和文誌編集委員会

吉浦理事より、投稿・発刊状況について、2022年現時点では投稿総数が計5編であると報告があった。

④図書刊行委員会

森本理事より、報告事項は特に無い旨の報告があった。

⑤用語委員会

森本理事より、日本歯科医学会編纂の用語集の作成対応にあたった旨、資料のとおり報告があった。

⑥防護委員会

河合理事より、資料のとおり委員会活動の報告があった。主な活動は次の通り 1. 医療放射線防護連絡協議会理事会等への出席、②J-RIME 総会等への出席、③医療法施行規則、医療用エックス線装置基準（手で保持して使用する口内法撮影用エックス線装置）改正に伴う対応、④携帯型口内法 X 線装置による手持ち撮影のためのガイドライン改定作業。

⑦保険委員会

新井理事より、資料の通り委員会活動の報告があった。2022年4月に保険点数の改定が実施された。本学会から、①パノラマの下縁皮質骨による顎骨脆弱度評価、②口内法 X 線撮影による骨塩定量検査、③部分パノラマ断層撮影法の導入に向けて技術提案を行った。

⑧財務委員会

倉林理事より、本年5月13日(金)に、前年度の収支決算の最終確認および監査を行った旨報告があった。

⑨選挙管理委員会

倉林理事より、令和3年度における選挙管理委員会の活動について議事録を添付する形で報告があった。

⑩診療ガイドライン委員会

中山理事より、資料の3項目について継続的に策定作業を行っている旨説明があった。

⑪倫理委員会

中山理事より、新たな審査依頼は無い旨報告があった。

⑫広報委員会

勝又理事より、ホームページの運営について、西山委員よりサーバー関係に技術的問題点が発見・報告され、業者に改善を依頼する事案があった。それ以外は特段の問題なく運営を継続している。

⑬医療情報委員会

勝又理事より、放射線画像検査および放射線レポートに関する HL7 FHIR の定義」に関して、歯科画像検査における対応を委員会として検討する事となったと報告があった。

⑭学術委員会

後藤理事より、本年度の学会賞と名誉会員賞推挙対象者に関する報告がなされた。審議は後ほどの審議事項にて行うことにした。

⑮教育委員会

有地淑子理事より、歯科医師生涯研修担当として、e-learning「生涯研修の動画ライブラリ」策定やオンライン研修の仕組みづくりの検討を進めるためのワーキンググループ（以下 WG と略す）の件について、討議を行った旨、議事録とともに報告があった。

林理事より、教育研修会担当として、今後の開催予定は、web 開催・e-learning 等を主体に感染拡大状況を鑑みつつ検討することとしていることが報告された。その他資料の通り報告があった。

⑩認定委員会

- ・准認定医・認定医・専門医・指導医・研修機関担当の荒木理事より、認定試験結果についての報告があった。
- ・PET 核医学歯科認定医担当の倉林理事より、認定医は3月時点で27名であると報告があった。
- ・口腔放射線腫瘍認定医担当の三浦理事により、教育研修会予定と今後の認定審査予定について資料の通り報告があった。

⑪渉外委員会

- ・三浦理事より、日本放射線腫瘍学会に関して資料の通りイベント開催の告知報告があった。
- ・新井理事より、IADMFR, ACOMFR について資料の通り各イベント開催について報告があった。
- ・倉林理事より、頭頸部放射線研究会に関して第35回頭頸部放射線研究会が9月4日から東京で開催される旨、報告があった。
- ・倉林理事より、日本核医学会に関して、核医学フォーラムについて2022年9月に京都で開催予定の旨、資料の通り報告があった。
- ・飯久保理事より、日本口腔診断学会・日本口腔内科学会に関して、資料にある通り報告があった。
- ・浅海理事より、日本口腔科学会に関して、第77回NP0法人日本口腔科学会の予定について報告があった。
- ・浅海理事より、日本歯学系学会協議会に関して、2022年6月21日講演会について報告があった。
- ・小椋理事より、日本口腔腫瘍学会に関して、2023年1月に岡山で第41回大会が開催予定である旨、報告があった。
- ・金田理事より、日本医学放射線学会に関して、第81回大会が2022年4月にハイブリットで開催された旨報告があった。第58回日本医学放射線学会秋季臨床大会は2022年9月に東京で開催予定である。
- ・金田理事より、日本口腔インプラント学会に関して、本年9月に名古屋で第52回大会が開催予定であると報告があった。日本歯科放射線学会との共催シンポジウムは「いま問われる MRI 検査への対応」である。
- ・金田理事より、日本画像医学会に関して、第41回日本画像医学会が2月にWeb開催されたと報告があった。
- ・金田理事より、日本デジタル歯科学会に関して、本年4月に第13回大会がハイブリッド開催された旨報告があった。
- ・勝又理事より、口腔三学会連携協議会に関して口腔三学会連携協議会はWeb開催した旨、報告があった。本年度の四学会合同研修会講師は田中良一先生がご担当予定である。また、三学会合同シンポジウムは林孝文先生がご担当予定。
- ・北森理事より、診療放射線技師連絡協議会に関して、各種大会の開催や活動について報告があった。

6) 審議事項

第1号議案 令和3年度事業報告、財務目録、貸借対照表及び収支計算書の件

倉林理事より、収支報告がなされた。今年度は約218万円の黒字となり、2,457万円の次期繰り越し金となった。当年度もコロナ禍の影響により研修会縮小などで支出が抑えられた形となった。また、早川監事より監査報告がなされた。挙手により承認を得られた。

第2号議案 令和4年度収支予算修正承認の件

倉林理事より、今年度の予算修正案について説明があった。収入の部は賛助会員退会に伴う修正、支出の部は諸団体連携で令和3年度を参考に1,500,000円に、通信費も400,000円に、理事会等運営費も50,000円とした。事務局委託費はその契約改訂に伴い2,527,800円に修正、支払報酬は登記を見込んで100,000円に修正した。予備費で調整し、収支差額0円とした。挙手により承認を得られた。

第3号議案 令和5年度収支予算承認の件

倉林理事より、事業計画に沿って予算を立てた旨説明があった。令和4年度の修正予算案とほぼ同一で、異なる箇所は支出の部、2の管理費、支払報酬が0円に、選挙実施のため選挙関係費を450,000円に設定した。予備費で調整し、収支差額0円の収入合計と支出合計どちらも28,411,000円となった。挙手により承認を得られた。

第4号議案 令和5年度事業計画承認の件

浅海理事長より、事業計画について説明があった。挙手により承認を得られた。

第5号議案 学術委員会 各種会員賞授与について

後藤理事より、次の5名を名誉会員として承認してよいか審議依頼があった。

- ・倉林 先生 理事 16年(2006年度～)
- ・小林 先生 理事 16年(2006年度～)
- ・誉田 栄一 先生 理事 16年(2006年度～)
- ・本田 和也 先生 理事 14年(2008年度～)
- ・四井 資隆 先生 理事 4年(2018年度～)

挙手により承認を得られた。また補足として、湯浅先生は専門医として正会員を継続されたいとのご意思があり、現時点において名誉会員推挙となっていないことが後藤理事より説明があった。

また、令和3年度学会賞として、委員会審議により候補となった次の2名を受賞としてよいか審議依頼があった。

- ・優秀論文賞 伊川裕明(イカワヒロアキ)先生 放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院
 - ・学術奨励賞 武者 篤(ムシャアツシ)先生 群馬大学重粒子線医学センター
- 挙手により承認を得られた。

田口理事より、選考論文が1編のみであった場合の採点付けの際、明確な基準が設けられていないので、次期執行部での課題として頂きたいと発言があった。

角理事より、論文選考において編集委員会から良い論文をいくつか推薦頂き、審査をしていくようにすれば、選考論文が複数となり、公正になるのではないかと意見があった。

第6号議案 規約検討委員会 専門医制度施行細則の改訂の件

田口理事より、規約検討委員会として資料5の通り標記細則の改訂に関して審議依頼があった。挙手により承認を得られた。

後藤理事より、業績集の日付をいつにするのかについて大学内で討議がなされたが、今後、業績集、論文賞の応募の際はアクセプトの日付を基準にしても良いのか、意見伺いがあった。浅海理事長より、どちらかというオンライン上に公開された日付を基準にした方が良いのではと意見があった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和4年 月 日

議 長 _____ 印

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印